

長野県説明資料

令和3年6月9日

阿部長野県知事 提出資料

長野県ゼロカーボン戦略のポイント

基本
目標

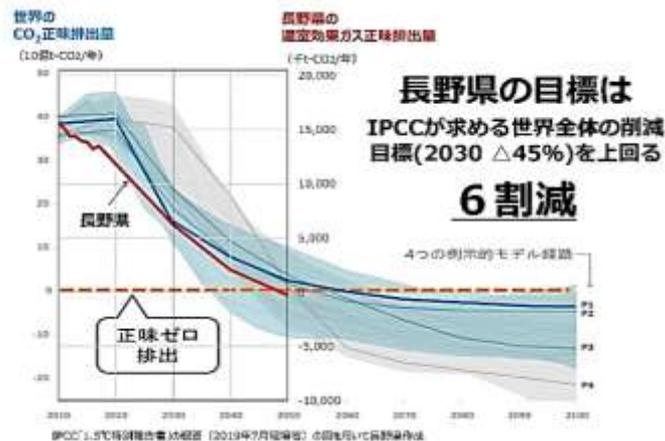
社会変革、経済発展とともに
実現する**持続可能な脱炭素社会**づくり

数値
目標

二酸化炭素を含む**温室効果ガス正味排出量**を
2030年度 **6割減** 2050年度 **ゼロ** を目指す

- **再生可能エネルギー生産量**
2030年度までに**2倍増**、2050年度までに**3倍増**
- **最終エネルギー消費量**
2030年度までに**4割減**、2050年度までに**7割減** ※ いずれも2010年度比

IPCC報告 との比較



2030年までの重点方針

2030年までが
「**人類の未来を決定づける10年**」と言われています。

- **既存技術**で実現可能なゼロカーボンを**徹底普及**
- 持続可能な**脱炭素型ライフスタイル**に**着実に転換**
- **産業界**のゼロカーボン社会への**挑戦を徹底支援**
- **エネルギー自立地域づくり**で**地域内経済循環**

分野別の施策

1 交通

- ◆ EV・FCVで安心・快適に走れる**充電インフラを充実**
- ◆ **多様な移動手段の確保**
(公共交通への積極的支援、MaaS、グリーンスローモビリティ、自転車等)

2 建物

- ◆ **全ての新築建築物のZEH・ZEB化**を実現
- ◆ **信州型健康ゼロエネ住宅**(仮称)普及、温暖化対策条例の改正

3 産業

- ◆ ESG投資を呼び込む**事業活動のゼロカーボン化**を支援
- ◆ ゼロカーボン基金で**グリーン分野への挑戦**を後押し

4 再生可能エネルギー

- ◆ 地域事業者と連携し**住宅太陽光と小水力発電**を徹底普及
- ◆ **エネルギー自立地域づくり**を強力に推進 ⇨ **10カ所以上**

5 吸収・適応

- ◆ **森林CO₂吸収量を増加**、**まちなかグリーンインフラ**を拡大
- ◆ 信州・気候変動適応センターを中心に**適応策**を実行

6 学び・行動

- ◆ **信州環境カレッジ**を核に多様なカリキュラムを展開
- ◆ 若者を牽引役に「**ゼロカーボン実現県民会議**」を始動

2050へのチャレンジ「気候危機突破プロジェクト」

県民・事業者・市町村など**様々な主体と連携・協働**して
2050年の将来像を見据えた中長期的な課題に挑戦

1 脱炭素まちづくり

- コンパクト+ネットワークまちづくりP J (歩いて楽しめるまちづくり)
- 建物P J (健康の視点から啓発、既存ビルの性能向上・民間等へ波及)

2 環境イノベーション

- グリーンイノベーション創出P J (SDGs 経営の浸透、新技術の開発促進)

3 地域循環共生圏創出

- エネルギー自立地域創出P J (RE100リゾート、持続可能な中山間地) **1**

